

# 令和7年度 衆議院海外派遣 報告書概要

令和7年9月17日

## 1. 団名

衆議院スウェーデン、ドイツ及びベルギーにおける消費者問題等調査議員団

## 2. 目的

スウェーデン、ドイツ及びベルギーにおける消費者問題等に関する調査のため

## 3. 派遣議員団

団長	消費者問題に関する特別委員会	委員長	浦野 靖人 (維新)
	消費者問題に関する特別委員会	理事	大西 健介 (立憲)
	同	理事	伊東 信久 (維新)

同行 衆議院第一特別調査室長 松本 邦義

## 4. 派遣期間

令和7年8月26日(火)から9月4日(木)までの10日間

## 5. 派遣国

スウェーデン、ドイツ、ベルギー

## 6. 主な調査内容

### (1) スウェーデン

- ①財務省を訪問し、行政管理局次長兼消費者政策課長らと面会し、主にマルチ商法に対する施策や消費者教育について説明を受け、意見交換を行った。
- ②雇用省及びストックホルム県庁を訪問し、それぞれ公益通報者保護制度等について説明を受け、意見交換を行った。
- ③軍需産業大手のS A A Bを訪問し、コンプライアンス担当者から事業者としての内部通報制度の運用について説明を受け、質疑応答を行った。

### (2) ドイツ

- ①連邦司法省を訪問し、公益通報者保護制度等について説明を受け、意見交換を行った。

- ②製品テスト財団（Stiftung Warentest）を訪問し、同財団の概要及び財団における製品テストの取組等について説明を受け、意見交換を行った。
- ③連邦農業・食料・故郷省を訪問し、フードロス対策等について説明を受け、意見交換を行った。
- ④JETROベルリン事務所を訪問し、ベルリンにおけるスタートアップエコシステム及びドイツに対する日本の外食産業や食料品の売り込み等の説明を受け、意見交換を行った。
- ⑤食品表示の実態調査のため、JETROベルリン事務所に隣接するスーパーマーケットを視察した。

### (3) ベルギー

- ①欧州委員会司法・消費者総局（消費者問題担当）を訪問し、EUにおけるデジタル化への対応、持続可能な社会の実現及び製品安全等につき説明を受け、意見交換を行った。
- ②連邦監察機構を訪問し、公益通報者保護の実務について説明を受け、意見交換を行った。
- ③ベルギー議会議事堂を視察した後、委員会室において、下院経済・消費者保護・デジタル化委員長他3名の国会議員と、同委員会において最近議論された案件（値段を据え置いて量を減らす「シュリンク・フレージョン」の規制やがん保険における「忘れられる権利」等）について説明を受け、意見交換を行った。
- ④トヨタモーターヨーロッパを訪問し、同社の欧州地域における生産状況等について説明を受け、意見交換を行った。
- ⑤商品テスト機関（Testachats）を訪問し、機関の概要及び機関における商品テストの取組等について説明を受け、意見交換を行った。
- ⑥欧州議会の域内市場・消費者保護委員長を訪問し、議会におけるデジタル公正法の議論等について説明を受け、意見交換を行った。
- ⑦欧州委員会司法・消費者総局（公益通報担当）を訪問し、公益通報者保護のEU指令制定過程やその背景等について説明を受け、意見交換を行った。
- ⑧欧州消費者機構を訪問し、EUにおける消費者団体の取組等について説明を受け、意見交換を行った。

(注) 報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。